令和7年度 第1回 村櫛小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月8日（木） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 村櫛小学校 3階 会議室
- 3 出席委員 徳増 久子、遠山 通夫、徳増 善幸、藤田 善人、田中 奈緒子、中村 晃子
- 4 欠席委員 柴田 宜克、新村 達也
- 5 オブザーバー 杉山 理恵（村櫛幼稚園園長）
- 6 学 校 石塚 稚人（校長）、宮本 直子（教頭）、鈴木 亨（教務主任・CS担当職員）、吉田 真季（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 吉田 真季
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、徳増久子委員から徳増善幸委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 熟議事項

- (1) 令和7年度 学校運営の基本方針について
- (2) いじめ防止基本方針について
- (3) 令和7年度 学校運営協議会の目標について
- (4) 令和7年度の支援活動についての意見交換
 - ー5年 へちまプロジェクト
 - ーその他の支援活動（木工作品制作体験・読書活動の推進など）
- (5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

11 会議記録

司会の徳増善幸委員から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度学校運営の基本方針について

石塚稚人校長から別紙に基づき令和7年度の学校運営の基本方針について説明があった。

「楽しい学校、挑戦する学校」をキーワードにレインボープランを学校運営の中心におき、子ども達が「今日1日楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校づくりを目指したい。歴史ある村櫛小学校ならではの船の遠足、算数教育、少人数のよさを生かしていきたい。一方で体験不足や人間関係づくりの面で課題があるので手立てを講じたい。読書の推進の為に展示コーナーの新設に着手している。委員からは、以下の発言があった。

- ・学校の運営方針がよく分かった。豊かな教育活動が計画的に組まれていることがよいので賛同できる。村櫛でアサリがとれたことを浜名湖体験で味わってほしい。（徳増久子委員）
- ・豊かな体験があると思う。浜名湖体験とは具体的にどのようなものか。（徳増善幸委員）
- 5・6年生を主とした着衣泳や浜名湖の魚やアマモやウニ、クラゲといった生き物を観察している。他に去年は浜名湖フォーラムに協力頂きアマモを育てる体験もした。（教務主任）
- ・村櫛を活力ある地域にしたいと思っている。子どもの笑顔は家庭を笑顔にする。それは、地域を幸せにしたいと思っている。（遠山通夫委員）
- ・「劇団たんぽぽ」やアクトでの「劇団四季」など豊かな体験があると思う。入学者数が減ってくると複式学級になる可能性はあるのか。（田中奈緒子委員）
- 来年度は複式学級にならないが、令和9年度はあり得る。（校長）

(2) いじめ防止基本方針について

石塚稚人校長から別紙資料に基づきいじめ防止基本方針について説明があった。いじめを0にする事は難しいが「見逃し0」を目指す。教員には、学級目標の設定や相互に認め合う活動を展開し、未然防止に努める事や、組織で対応していくことを指示している。保護者には、良い事もそうでない事も伝え、一緒に育てていく意識を高めていく。委員からは、以下の発言があった。

- ・いじめが発生しにくい土壌づくりに感謝。でも自分の尺度しかないと起きます。自分と違う他人を感じながら、違う事を認め合う風土を作っていけるとよい。(徳増久子委員)
- ・現在ほどのようないじめの案件があるのか。(徳増善幸委員)
- 教育委員会に提出する「いじめの認知数」は他校に比べて少ないが、0ではない。何気ない言葉で相手を傷つける事が多い。クラス担任と教頭で聞き取りを丁寧にしながら組織で対応している。クラス替えが無いので、人間関係が固定化され、馴れ合っている。お互いを思いやる事を教えていきたい。(校長)
- ・子ども達の問題について、いつでも相談にのります。(藤田善人委員)

(3) 令和7年度学校運営協議会の目標について

徳増久子会長より前回の学校運営協議会自己評価の結果に基づき令和7年度の目標について説明があった。新しく取り入れた「挑戦する学校」の取り組みがどう作用しているか、それに添った活動がどれだけ提案できるか、その結果について熟議していく。地域と積極的に関わっていく活動、読書の推進を中心に熟議し、結果の考察も行う。委員からは特に反対の発言はなく承認された。

(4) 令和7年度の支援活動についての意見交換

議長の指示により、令和7年度の支援活動について熟議した。

- ・5年生のへちまプロジェクトについて宮本直子教頭から現5年生へ引継がれ、へちまの種をプレゼントしたり、外部講師の五明さんが後日来校予定と報告があった。
- ・木工作品制作体験を地元の業者が快く引き受けてくれた。授業時間を作ってもらい保護者も含め数日をかけて良いものを作っていきたい。今年度は本箱を卒業制作とし、読書活動の推進に寄与していけるとよい。費用も学校側に出来れば負担をお願いしたい。(徳増善幸委員)
- ・学校運営協議会が活発に運営されていると感じた。その結果、子ども達が色々な体験をさせてもらっている。現6年生の子どもが去年のへちまプロジェクトに楽しんで参加し、現5年生の保護者から羨ましがられていた。今年は本箱を制作できるのをすごく楽しみにしている。(中村晃子委員)

(5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

宮本直子教頭から夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があった。市からもらっている予算を栽培活動や地域と関わる活動の充実に使っていきたい。又、6年生の卒業制作の本箱の費用もこの予算から充てたい。

その他の連絡事項等

村檜幼稚園園長より別紙資料に基づき村檜幼稚園について報告、宮本直子教頭から次回会議は令和7年11月6日(木)に3階会議室で開催する旨の報告があった。又、次回の議長の選出について委員に意見を求めたところ、徳増久子委員から徳増善幸委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。